

看護英語	1年・後期	1単位 30時間	准教授 鈴木 穰
科目カテゴリー	人としての教養	科目ナンバリング	31310191

1. 授業のねらい・概要

近年，訪日外国人観光客・外国人労働者の増加にともなって，日本の医療現場でも英語で対応することが求められる場面が増えつつある。この授業では，学生が医療現場において英語を用いて的確な意思の疎通を図るとともに，異なる背景をもつさまざまな人々の医療ニーズを読み取り，積極的な対応を行うための看護英語を学ぶ。

2. 学修の到達目標

1. 英語で基本的なコミュニケーションを行うことができる。(D-4)
2. 医療現場において，専門用語を交えながら，英語で適切な意思疎通を図ることができる。(D-4)
3. 医療現場で求められる説明を，専門用語を交えながら，英語で伝達することができる。(D-1)

3. 授業の進め方

テキストを用いながら，医療現場で用いられる専門用語を習得するとともに，積極的にコミュニケーションを図る能力を培う。また，看護に対する思いを話し合い，具体的な状況を想定しながら実践的なリスニング・スピーキング能力を涵養する。さらに，多様な背景をもつ人々の文化や価値観の違いについて考える想像力を養う。

【アクティブ・ラーニング実施の有無】

議論型授業，ペアワークやグループワークを用いる。

【ICT活用の有無】

ICTは活用しない。

4. 授業計画（講義）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	Guidance（ガイダンス）	講義	予習：第1課の単語調べ 復習：初日の内容を振り返る	鈴木 穰
2	Hospital Departments	講義	予習：第2課の単語調べ 復習：前回の会話例文の復唱	鈴木
3	Application forms	講義	予習：第3課の単語調べ 復習：前回の会話例文の復唱	鈴木
4	Parts of the Body	講義	予習：第4課の単語調べ 復習：前回の会話例文の復唱	鈴木
5	Illnesses	講義	予習：今までの復習 復習：前回の会話例文の復唱	鈴木
6	Review, Listening Time	講義	予習：第5課の単語調べ 復習：前回の会話例文の復唱	鈴木
7	Daily Routine	講義	予習：第6課の単語調べ 復習：前回の会話例文の復唱	鈴木
8	Hospital Objects	講義	予習：第7課の単語調べ 復習：前回の会話例文の復唱	鈴木
9	Locations of Hospital Objects	講義	予習：第8課の単語調べ 復習：前回の会話例文の復唱	鈴木
10	Hospital	講義	予習：今までの復習	鈴木

	Directions & Instructions		復習：前回の会話例文の復唱	
11	Reading Time- Nursing Episodes	講義	予習：第9課の単語調べ 復習：前回の会話例文の復唱	鈴木
12	Directions- Outside the Hospital	講義	予習：第10課の単語調べ 復習：前回の会話例文の復唱	鈴木
13	Chatting with a Patient	講義	予習：第11課の単語調べ 復習：前回の会話例文の復唱	鈴木
14	Taking a Medical History	講義	予習：第12課の単語調べ 復習：前回の会話例文の復唱	鈴木
15	Hospital Procedures	講義	予習：今までの復習 復習：期末試験準備	鈴木

5. 成績評価の方法・基準

期末試験 40% (受験資格は3分の2以上の出席した者), 課題 30%, 授業参加度 30%を基準として総合的に評価する。

成績評価は、「2.学修の到達目標」に示した評価観点毎に、ルーブリック評価する。尚、ルーブリック評価表に関する詳細は、第1回講義内で別途説明する。

期末試験の出題範囲および出題方法等に関しては、事前に口頭で提示する

2回の課題も、事前に口頭で提示する。それぞれ15%ずつの比重である。

授業参加度は、ペア・グループワークを行う。意見を求める際には積極的に参加してもらいたい。

6. テキスト・参考文献

テキスト：Vivian Morooka and Terri Sugiura, *Vital Signs, Revised Edition: Essential English for Healthcare Professionals*

(NAN' UN-DO Co., Ltd. 2018).

参考文献：授業中に適宜伝える。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

初回の授業で配布された日程表に基づいて、次回の講義で学習する範囲を予習してこよう。グループ内のメンバーと協力して、学習した会話の練習をすることは効果的である。予習・復習には各45分程度を要する。

8. 受講上の留意事項

授業には、英和・和英辞書（電子辞書を含む）を持参すること。主体的、意欲的な授業への参加が重要である。遅刻、欠席および授業中の私語、授業中に授業に関連する作業以外の行動は、参加態度として評価対象とするので注意すること。

9. 課題に対するフィードバックの方法

定期試験の解答は掲示して周知する予定である。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目である。（履修要項・学生便覧参照）

11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される

米国の大学、大学院での修学をもとに英語指導を行ってきた。それらの実務経験を活かして、講義を行う。